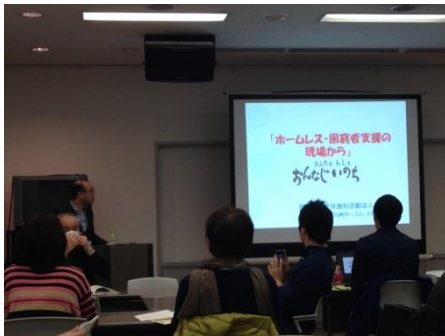


地協社保・平和活動交流集會に参加してきました！



2月27日から28日にかけて、北九州市小倉で、中四地協の社保活動交流集會が行われました。毎年、中四国の8県が持ち回りで担当し今回は山口県が主催でした。各県で取り組まれている社保の活動を交流することで、自身の県で良いところを活かすのが大きな意義です。香川の参加者は協同の藤原さん・三崎さん、善診の宮西さん、みき診の田村です。

初日は「ホームレス自立支援センター北九州」の山田さんの講演で始まり、北九州でのホームレス支援の取り組みについて分かりやすく説明してくれました。ホームレスとは住居やお金がない【物理的困窮】だけではなく、家族や心配してくれる人がいない【関係的困窮】があることで路上生活者となり、支援には2つの困窮に同時に取り組むことが大事であると教えていただきました。

各県の報告で香川は善診の宮西事務長が「原発関連避難者対象健診」という演題で報告を行い、中四国では取り組まれているところも無く、各県からは自分のところでもぜひ行いたいと言う感想が出されていました。

二日目は下関市立大学の関野教授が「アベノミクス社会保障大改悪に対抗するー私たちの対案ー」で学習講演がありました。普段大学で教鞭をとっている方なので、とても分かりやすい講演でした。全てに亘って驚き勉強になることばかりでしたが、特に印象に残った点が二点あり、日本は世界的に見て北欧などに代表される福祉国家と変わらない税金を納めているのに、福祉国家の6割程度のサービスしか受けられていないと言う点と、もう一点は上位2%の富裕層と大企業で「過剰な富」が511兆円もあるそうです、その過剰な富の0.6%を政府部門に移転すれば、政府が強く発表する「社会保障給付が毎年3兆円の自然増」にも対応できるし、現在行われているいくつかの医療・介護の改悪の必要もありません。日本と言う国がいかに国民に冷たく、金持ち・大企業を優遇しているかが理解することができました。

この交流会で学んだ真実をたくさんの人に知ってもらう為に、今後の平和・社保活動に取り組んでいきたいと思えます

(生協みき診療所 田村孝)



14年度県連リハ部会ミニ学会を開催しました！



2015年2月21日にホテルパールガーデンにて、第9回香川県民主医療機関連合会リハビリテーション部会ミニ学会が開催されました。今年も急性期・回復期・維持期の各視点から12演題が集まりました。参加人数も63名もの参加者が集まり、各々の視点から活発な質疑応答が飛び交いました。日々の仕事の成果を、このような場で発表することで仕事のやりがいを持つことができ、また、聞き手はこれからの仕事に対していい刺激を受けることができます。

来年は、記念すべき第10回のリハビリテーション部会ミニ学会が開催される予定です。県連学術部のみなさんと良い学会ができるよう力を合わせてがんばっていききたいと思います。

(県連リハ部会学術部一同)

全国革新懇
辺野古新基地建設阻止

翁長県知事激励！
安倍首相抗議！

ハガキ

189通を送付！！

ご協力ありがとうございました！